



ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



掲示板の彩りも秋らしく・・・
第 18 号
R5.9.8発行
文責 永田 功臣

中学生の職場体験学習に思う

砥用中学校の2年生、島田彩加さんと下田緋永さんが7日（木）と8日（金）に職場体験学習として本校を訪れました。2人とも本校卒業生で、かつて知ったる校舎になりますが、今回は立場が違います。総合的な学習の一環として「**自立し、社会の中で自分の役割**を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力」をつけたり、「**働くことの意義**」「**社会生活のマナー**」「**自己表現力**」「**コミュニケーション力**」を身に付けるという目的が、中学校からの依頼文には書いてありました。本人たちにも少し緊張が見られました。

それでも、職場体験の場として励徳小学校を選んでくれたことをとてもうれしく思います。若者が、教員としての職業を敬遠したり、残業が多く職場環境が悪いなどという風潮が、最近クローズアップされたりしていますが、元来もっと**夢のある職業**だと私は思います。一方で、若者にそういうマイナスイメージを持たせている私たち教員の方にも責任がありそうです。

2日間の職場体験を通して、職場としての学校、仕事としての教職をどのように感じたのか、また、在校時の先生方のイメージと今は違うのかどうか等、2人に感想を書いてもらいました。これをもとに私たちも改善できる部分を考えてみたいと思います。

母が、小学校の先生なので先生という仕事に興味があり、学校を選びました。子どもと遊んだり、授業したりだけではなく、書類などを書かないといけないので、休む暇がなくて大変だと思いました。児童と話すときは、特に笑顔で明るいと思いました。

島田 彩加

何かを教えるときに、どうすれば相手に伝わりやすいのか学ぶために「学校」を選びました。先生方は、授業中は笑顔だけど、職員室では真剣に話している、授業の事前準備が大変そうでした。メリハリをつけるのが上手で、コミュニケーション力が高く、接しやすかったです。下田 緋永



2人の得意分野で小学生に指導してもらいました。職業選択において、自分の力を発揮できるという点は特に重要なポイントだと思います。

☆はっかう☆

～キラリと光るために～

2学期が始まって2週間が経ちました。みんなの元気な姿が、私を元気にさせます。逆に、疲れたり、落ち込んだりしている姿を見ると少し心配になります。

大きな声でなくても、**ちょっとした挨拶や笑顔で人を元気にさせることができます**のです。そういう気持ちを持って、**朝のさわやかな挨拶を地域の人にも届けましょう**。そして、有意義な一日を過ごしましょう。

「キラリと光る」ために
息をすって声を出し
相手に聞こえるような
元気なあいさつをがんばる



「相手を元気にさせるあいさつ」
四年 渡邊 妃夏

もっとサイエンス



夏休み中に、校区探検ウォークラリーのお世話をしてくださっている井澤さんに案内していただいて、町内の石橋を見て回った話を始業式の時にしました。石橋はセメントや接着剤等を使わないのに頑丈にできているのが不思議ですね。**石の重さをうまく利用して石と石をくっつける方向に力がはたらいています**。そのため下の部分は、丸い形をしているのが特徴的です。

石橋だけでなく、世界中の橋を調べてみると橋の形は様々です。どのようにして重いものを支えているのか、**形からちょっと考えてみてください**。

そういえば、1年前「令和金木橋」の橋面にお絵描きをしましたね。その時に使われている鉄筋コンクリートの強度体験をしたのを覚えていますか。**コンクリートが圧縮に強く、鉄は引っ張りに強い性質があり**、その両方のよさを組み合わせて強い部材にしているとの説明がありました。将来、橋を架ける仕事をしている人もいるかもしれません。橋を見て形や材質等から、その強さについて考えてみましょう。



感謝

遠野長男会の皆様より今年も寄付金をいただきました。暑い日が続いていますので、室内でも遊べる遊具等の購入に活用させていただきます。感謝です。



森田さんより贈呈